



表紙：上から、1930年のバスクリン発売当初の容器と、中将湯の看板。入浴剤の長い歴史が感じられる（提供：バスクリン）



山梨市敷島総合公園の梅（提供：鈴木宏記）



上から、風呂屋の煙突、脱衣所の天井、風呂釜。最近は少なくなった（撮影：佐藤成美）

# 化学と工業 2

CHEMISTRY & CHEMICAL INDUSTRY

Vol.67-2 February 2014

C O N T E N T S

111	<b>巻頭言</b>	<b>2020年 あなたの目標は?</b> 藤吉建二
115	<b>論説</b>	<b>産業競争力を支える“知の基盤”の再構築を</b> 廣崎膨太郎
117	<b>OVERVIEW</b>	<b>入浴剤でもっと温まる。もっと楽しむ</b> 入浴剤の科学
122	<b>特集</b>	<b>網羅的解析で何がわかるのか?</b>
		質量分析計、シークエンサー、DNA マイクロアレイ等の分析技術の進歩と、大量のデータを扱う解析技術の向上により、ゲノムや mRNA、タンパク質、代謝物などを一挙に解析することが可能となった。こうした網羅的分子解析（オミクス解析ともいう）は、生化学、食品、医療などの分野に革新的な変化をもたらしつつある。ここでは、「網羅的解析」をキーワードに、各分野の研究者の方々に最新の動向についてご紹介いただき、どのような分析手法を基本とし、網羅的解析の結果、何がわかるようになったのかについて俯瞰してみる。 〔担当：土岐・長谷川〕
		<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ニュートリゲノミクス ——食品と栄養における網羅的解析 加藤久典</li> <li>2 メタボロミクスを有効活用するためには ——メタボロミクスの実用技術と運用方法 馬場健史・福崎英一郎</li> <li>3 プロテオーム解析 ——タンパク質の網羅的解析で何がわかるか 平野 久</li> <li>4 ヒト腸内細菌叢メタゲノムの大規模シーケンズ解析 服部正平</li> </ol>
136	<b>私の自慢</b>	<b>研究テーマにおける不易流行</b> ——ジャガイモ畑を耕せる人材の育て方 高橋孝志
139	<b>Gallery</b>	<b>医薬品受託製造企業の現状と製造技術</b> 橋本光紀
146	<b>Division Topics</b>	物理化学 ピコニュートンの力をはかる 理論化学・情報化学・計算化学(TIC) QM/MM 法の発展 錯体化学・有機金属化学 酵素機能を発現する「スマート dendrimer」 天然物化学・生命科学 生合成経路を模倣した天然物の“骨格多様化合成”
148	<b>BCSJ賞/CL</b>	

平成 25 年度化工誌編集委員会

委員長：上村大輔 理事：稲垣由夫

委員：蟹江澄志 / 中野幸司 / 石田玉青 / 松村和明 / 高橋亮治 / 鈴木健夫 / 正岡重行 / 武部洋子 / 中村 聡

幹事委員：土岐育子 / 多田啓司 / 長谷川哲也 / 山崎友紀 / 小林 恵 / 蒲池利章 / 小倉 賢

監修：植村 榮 / 岩本振武

★化工誌記事についてのお問合せ E-mail: kakoshi@chemistry.or.jp

デザイン：(株)マツダオフィス

- 
- 149 **化学会発**  
サイエンスアゴラ 2013 参加報告—サイエンスアゴラ賞 受賞 宮本一弘  
日本化学会の就職活動支援—企業情報の迅速・適切な発信 瀬田 博
- 152 **支部だより**  
青森地区弘前地域の活動 東北支部  
地区発の教育・普及活動 関東支部  
“市民として必要な基礎・基本の化学”と“年会の実験教室” 近畿支部
- 155 **部会だより**  
生体分子のコロイド界面化学 コロイドおよび界面化学部会
- 156 **CCI サロン**  
アジア人留学生から見た日本の研究環境 “日本留学を振り返って”
- 157 **編集後記**
- 158 **会告** (次号予告)
- 159 **お知らせ**  
**行事一覧**  
**講演会・講習会**  
**研究発表会——発表募集**  
**研究発表会——プログラム**
- 
- 178 **掲示板**  
179 **求人・求職**  
次頁 **広告索引・広告資料請求用紙 (ご活用下さい)**

